たちやざわがわ　りゅうじんしんこう

立谷沢川の龍神信仰



月山の奥深くの谷には『龍神様』がおられるという古くからの言い伝えがあるそうです。
立谷沢川沿いの集落には、必ず石碑が祀られていました。
かつては豪雨が降る度に暴れ川となり、洪水氾濫を起こしていたため、昔の人は石碑を建立し、水を司る神の龍神・水神様に祈りを込め、鎮めてもらっていたということです。
ぜひ龍神・水神様巡りをしてみてはいかがでしょうか？

立谷沢川の上流は地質がもろく、大規模な土砂崩壊が発生しています。こうした土砂が土石流、洪水氾濫を引き起こしてきました。


濁沢崩壊地

龍神銅板

鉢子地区の龍神様
（天明５年／1785年建立）

橋の親柱

砂防堰堤を一望できる龍神橋



毎年10月に開催される月山龍神マラソンでは、飛龍も駆け回ります！

立谷沢川沿いの集落に今も残っている数多くの石碑･･･その脇にはこれまでの災害が忘れ去られないように、かっこいい龍神の銅板が設置されています。





じつは…
龍神の銅板に記されている文字をつなぎ合わせると、メッセージになるんですよ！

龍神様が描かれた砂防堰堤を一望できる龍神橋には、至るところに龍が！何体いるのか数えてみるのも楽しいですよ！
隠れミッキーならぬ、隠れ龍がいるかも･･･？

先人から受け継がれた龍神信仰を後世に伝えるとともに、洪水等の災害が発生しないよう祈りを込め、色のついた天然石を使用したモザイク画の龍神様が描かれています。

☆立谷沢川沿いには龍神様がいっぱい！☆